

函館工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	英語演習 I A	
科目基礎情報							
科目番号	0307		科目区分		一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科	生産システム工学科		対象学年		4		
開設期	前期		週時間数		2		
教科書/教材	TOEIC®L&Rテスト突破コース						
担当教員	須藤 絢						
到達目標							
TOEICのトータルスコアを前期中に400点以上にする。(可350,良370、優400以上)							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	TOEICトータルスコアを400点以上にできる。		TOEICトータルスコアを370点以上にできる。		TOEICトータルスコアを350点にできない。		
評価項目2	TOEICリスニングスコアを200点以上にできる		TOEICリスニングスコアを200点以上にできる。		TOEICリスニングスコアを200点にできない。		
評価項目3	TOEICリーディングスコアを200点以上にできる。		TOEICリーディングスコアを170点以上にできる。		TOEICリーディングスコアを150点にできない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	英語でコミュニケーションを行うために必要な基礎的な能力を、e-learning演習を通して訓練し、英語を理解し表現できる能力を養う。また、e-learning学習を通じて技術者として社会で役に立つメタ認知、自己統制、自己効力感を高めることができるようにする。						
授業の進め方・方法	・Unitの学習は計画的、継続的に進めること。学習不振者は授業に加えて英語科教員が補習を行う。学習中間層には授業に加えて特別補習（TOEIC外部トレーナーによる特別指導）を行う。前期3回、学年全体でセミナーを実施する。 ・学習中級者（TOEIC模擬試験ハーフ結果をもとに選抜）には、授業に加えて、TOEIC外部トレーナーによる特別指導を行う。 ・試験はすべてTOEIC模擬試験フルサイズを試験期間中にクラス毎に受験する。（TOEICトータルスコアが350点の場合、試験成績40点。課題・締切・学習態度点20点。合計60点の評価。別表の換算表で評価点を出す。）350点以下は再試験対象。再試験は1回のみ。再試験で350点を取れない場合は不可とする。						
注意点	・毎週の授業時に進度確認を行うので、遅れずに自主的に学習を進めていくこと。学習不振者は補講を行う。JABEE教育到達目標評価：定期試験80%(E-4,)、課題アクティビティ20%(E-4) 全体セミナーを3回実施する。（授業6時間分）。 ※授業計画はTOEIC500点コースのユニット数を示している。4月の時点でTOEICトータルスコアが500点以上の学生は600点突破コース、600点以上の学生は730点突破コースを選び、各自で授業進捗計画を立てて実行すること。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス 模擬試験（ハーフサイズ） Step 1: Unit1-4		授業の目的・進め方・評価の仕方が理解できる。 現時点でのTOEICスコアを把握できる。 e-learningの学習方法を理解し、期日までに学習を完了できる。		
		2週	Unit5-8		e-learningの学習方法を理解し、期日までに学習を完了できる。		
		3週	Unit9-12		e-learningの学習方法を理解し、期日までに学習を完了できる。		
		4週	Unit13-16		e-learningの学習方法を理解し、期日までに学習を完了できる。		
		5週	Unit17-20		e-learningの学習方法を理解し、期日までに学習を完了できる。		
		6週	Unit21-24		e-learningの学習方法を理解し、期日までに学習を完了できる。		
		7週	Unit25-28		e-learningの学習方法を理解し、期日までに学習を完了できる。		
		8週	前期中間試験		TOEIC模擬試験（フルサイズ）を受験できる。		
	2ndQ	9週	答案返却・解答解説 Step 2 : Unit1-4		間違えたところを理解し、テストの取り組みなどを含め反省をすることができる。 e-learningの学習方法を理解し、期日までに学習を完了できる。		
		10週	Unit5-8		e-learningの学習方法を理解し、期日までに学習を完了できる。		
		11週	Unit9-12		e-learningの学習方法を理解し、期日までに学習を完了できる。		
		12週	Unit13-16		e-learningの学習方法を理解し、期日までに学習を完了できる。		
		13週	Unit17-20		e-learningの学習方法を理解し、期日までに学習を完了できる。		
		14週	Unit21-24		e-learningの学習方法を理解し、期日までに学習を完了できる。		
		15週	Unit25-28		e-learningの学習方法を理解し、期日までに学習を完了できる。		
		16週	答案返却・解答解説		間違えたところをしっかりと理解し、テストの取り組みなどを含め反省をすることができる。		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週

基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	英語のつづりと音との関係を理解できる。	2	
				英語の標準的な発音を聴き、音を模倣しながら発声できる。	2	
				英語の発音記号を見て、発音できる。	2	
				リエゾンなど、語と語の連結による音変化を認識できる。	2	
				語・句・文における基本的な強勢を正しく理解し、音読することができる。	2	
				文における基本的なイントネーションを正しく理解し、音読することができる。	2	
				文における基本的な区切りを理解し、音読することができる。	2	
				中学で既習の1200語程度の語彙を定着させるとともに、2600語程度の語彙を新たに習得する。	2	
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16
				中学校で既習の文法事項や構文を定着させる。	2	
				高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を習得する。	2	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16
				毎分100語程度の速度で平易な物語文などを読み、その概要を把握できる。	2	
			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16

評価割合							
	試験	発表	課題・アクティビティー	態度	ポートフォリオ	小テスト	合計
総合評価割合	80	0	15	5	0	0	100
基礎的能力	80	0	15	5	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0